

痴漢被害アンケート 【自由記述にかかれた被害の実態】 抜粋

具体的な被害や状況をお書きくださいー記述

1) あらゆる生活場면을覆っている

路上、電車やバスの中、職場、学校、保育園、お店、図書館や書店、ライブハウス、トイレから、家の中まで、被害の場所は生活範囲の全てを覆っている。整体院・歯科医院、乳がん検診での被害もあった。どこも安心できない。

- 生活範囲全てで被害に何度も何度も何度もあった
- 買い物しに來ただけであとをつけられる。後ろを通るふりをしておしりを撫でられる。満員電車で降りる直前に足を明らかに触られる。街で話しかけられながら暫く横を歩かれる
- 入浴中に覗きと盗撮の被害に遭った
- それ以来図書館を一人で利用していません
- 具合が悪くなっても極力病院に行かなくなりました
- 新幹線で隣の男がスマホでAVを見せつけてきながら自慰をしていた
- 介護の職場で介助中に手を引かれ、その男性の股間をさわらせられた
- 中学から電車通学で埼京線、湘南新宿ライン利用。痴漢された後、ホームで腕をつかまれトイレに引きずりこまれそうになった
- 中3の通学時、東横線で被害に。お尻をべったりさわられたので手を強く引っ掻いたところそれは止まった。電車を降りてから、スカートに白濁液がかかっていることに気付いた。精液だとすぐに分かった。渋谷駅のトイレで洗い流し、遅刻して電車で泣きながら登校した

2) 1人の人が何度も何度も被害に遭っている

- 一度や二度じゃないので、回答欄がもっといっぱいあるといいかな。…大きなものでも20回はこういった被害がある
- 幼少期から大人になるまでずっと。小さい頃は、パンツを脱がされたり、さわられたりした。習字の先生が二人きりになるとキスしてきたり、雨戸を閉めて閉じ込められて、だっこされた。通学では、電車で毎日のように痴漢にあった…大学では教授からセクハラをうけた。職場では、よく腰に手を回されるなどの、ボディタッチが遭った。道端で、よく声をかけられて、ついてこられる、その際に襲われることも何度かあり、現在40歳になるが、いまだにこのような被害にあっている
- 特に、電車内痴漢は、繰り返し。電車内での痴漢は日常茶飯事
- 高校3年間、行きと帰りの電車バスの中でほぼ毎日なんらかの痴漢にあった。1日に複数回あうことも稀ではなかった
- 電車に乗れば日常的に痴漢被害にあっていました。週に1～4回
- 高校生の頃は通学中の電車で毎日同じ人（同じ学生）に尻を触られていた
- 中高生の時も路上での痴漢や声掛けなどの被害はありましたが、大学生になって電車通学を始めてからの痴漢被害はひどいものでした。ラッシュアワー時に電車に乗れば、朝だろうと夜だろうと数え切れないほど被害に遭いました。…結局、被害にあわなくなったのは、電車通勤をしなくなってからです

●通っていた高校が地元の有名な女子校ということで『おとなしそうな黒髪の制服女子』が狙われていたのかなと思います

●学校が女子校で、制服が正統派のセーラー服だったため、そういう人が多いのではないかと感じます。…痴漢に遭った友人も多くいました

●連日、電車内で体に触られる等の被害に遭った。…母校の生徒は遊び好きという噂があり、渋谷を制服で歩いていると、わざと聞こえるように悪く言われた

女子校だったので、近所に露出狂が頻出した。学校側は特に対策なく、気をつけて、という声かけのみだった

3) 刑法上の性犯罪やその未遂と思われるものも大量にある。エスカレートしていくものも

●夜帰宅していると背後から走ってくる音が聞こえ…背後から抱き付かれ、声を上げようとしたら口を塞がれた。…8年経ったが、背後から早歩きで走ってくる足音、自分の方向に向かって走ってくる人が怖い

●中2の時、道を聞かれて説明をしたら「よくわからないから家で地図を見て教えてほしい」と言われついていったら団地の最上階の踊り場で局部をさわられ、写真を撮られた。犯人の局部を咥えさせられ射精された

●帰り道が暗かったので背後から羽交い締めになれ体を触られたことが何度かありました

●いきなり倒され、スカートの中に手を入れられた

●痴漢がレイプの入り口にもなっている。腕を掴まれて無理やりホームに降ろされて、そのまま連れていかれそうになった

●痴漢されたあとホームで腕を掴まれトイレに引きずり込まれそうになったこともあります

●小学1年の時…知らない男性に声をかけられた。…口を開けて目を閉じて、と言われて、飴でもくれるのかな？と目を閉じたら、変な間があいたので、そっと目を開けると、その男性は性器を出していた。怖くなって、やっばいらない。帰る！と言って走って逃げた

4) 暴力や脅しを伴い、生命の危険を感じさせるものが多い

●『静かにしろ』と耳元で囁く

●押し返したらスマホをたたき落とされて凄まれた

●座る位置をズラすと『離れるんじゃないねえ！』と言われた

●腹部にカッターが当たっていたので抵抗できなかった。…携帯電話を盗られ、LINEを交換されて解放された。大学の学生証も見られた。次の日、大学の最寄り駅で待ち伏せされていた

●密着してきたのでやめてほしくて肘鉄したら殴られた

●乗る場所を変えても時間を変えても、いつの間にか後ろにいる。…待っている場所がだんだん家に近くなった。…ある日、家の前にいるようになった

●入浴中に動画で盗撮、脱衣所を外部からの監視カメラで盗撮、動画はネット上で拡散される

●『断ったら最悪殺されるかもしれない』と非常に緊張した

●路上でナンバを断ったらいきなり平手打ちされた

●夕方の路上で後ろから抱きつき→首を締めながら『殺してやる！』→こちらが苦しくて力が入らなくなると体をまさぐる

5) そうでない場合も、加害者に有利な状況が確保されている

- 満員電車で身動きができない中
- 満員電車の中、私が掴んでいるつり革に、私の手の上に重ねる形で掴まれ、背後から抱え込まれる形で押し付けられました
- 複数の男性が取り囲んで自分を見えないように新聞を広げてガードしていた
- 「途中で電車を降りて逃げようとしても押さえつけられて降りれなかったり、逃げても追いかけてたりすることもあり怖かった
- 逃げられないように骨盤を押さえられたこともあります
- 所謂グレーゾーン痴漢が多いです。段々と密着してきてカバンや携帯など強く押し返しても近づいてくる
- 降りぎわに胸を触られ、何が何だかわからなかった。妙に近づいてるが、わざとだと気づくのにかかった。混んでいる車内でわざとか否か微妙だった。…今思えば全て性被害だったと思う
- 怖かった。助けてと言えず、助けてくれるかもわからず、怖かった
- やられた瞬間は体が動かない。身体男性に腕力で勝てないから迂闊に反撃できないとか、家までつけられて後日報復されたらとか、家族が巻き込まれたらとか、知り合いの場合はあとが怖いとか、反撃することのリスクが高すぎる
- 回答者の過半数は怖くて何もできない。助けを求めたのは 18%。加害者はそういう状況を利用している

6) 幼児や小学生が狙われる

- 路上での痴漢は幼少期が圧倒的に多く、痴漢されない一週間が存在しませんでした
- 路上が多い。
- 小学生で知識不足のため助けを求めていいのかがわからなかった
- 小学5年生のときは、まだ何をされたか理解できませんでした
- 本当にびっくりしたが、そのときは意味が分からず
- まだ幼くて性に関する事はハッキリとは分からないが怖かった
- 無知につけ込む
- 小1の頃、母が出かけているタイミングで帰宅し、マンションの前で待っていたら見知らぬ男性に声をかけられた。マンションの最上階に連れていかれ、ブルマと下着を脱がされ性器を見られ、さわられた。怖くなり逃げようとするとう殴ると脅され、それでも怖くて騒ぐと相手股間に口をつけさせられ精液を飲まされた

7) 中学生・高校生が狙われる。毎日の通学が危険

- 高校生の時、下校途中成人男性がズボンを下げ、自慰行為をニヤニヤしながら見せてきた。当日も起きたことについて何も触れず何もなかったかのように他の話をしながら帰った。振り返ってみると、一緒に被害にあった人とでさえ、性被害について話すことができないというのは恐ろしいことだと思う。いわゆる露出狂と言われる性犯罪について、注意喚起の文脈であっても笑い話のように、面白可笑しく語られることは非常に違和感がある。被害をととても軽く扱わ

れていると感じる

●中学生の時の痴漢は明らかに私をターゲットにロックオンしていました。…『こいつは声を上げない。こいつならリスクがない』と思っていたと思います。

●いずれも学校の制服を着けていた時に被害にあった

●制服（セーラー服）を着ていた頃は本当にひどかったです。…私服になって大人っぽい服装をするようになってからは、パタリとなくなりました

●制服だと痴漢に遭い、私服だと遭わないのが興味深かったです。制服は痴漢を呼び寄せると思います

●通学中は連日、電車内で体に触られる等の被害に遭った

●中学生の頃は電車通学で立っているとほぼ毎日のように痴漢にあってしまうため、座って通学できるように最寄駅を変えた。…当時は学校に遅れないことが優先だと思っていたため声をあげるという選択肢はなかった

●特に中学生。…日常的すぎて特に反応もせずに過ごしてきました

8) 盗撮被害

●買い物かごにスマホを入れて盗撮された

「カゴ盗撮」と検索したら画像がたくさん出てきた。そこで盗撮だったと確信。

●電車の前の席に座ったサラリーマンにスカートの中を撮られていた

9) 誰もが被害者になる

●派手であれば痴漢されない、そんなことは言い切れないものですね。顔も関係ないしどんな服装、どんな髪型、それは痴漢する側の趣味であり完全に防ぐって難しいなと思いました

●何回か同じ人と思われるひとから被害を受けたので、電車での通学をやめた（X ジェンダー男体）

●男性でも痴漢されます。男性から男性に性犯罪が起こる事もあります

10) 侮辱されている

●路上で『いくら?』と言われたこともあります

●駅構内で45分〇円でどう?と言われた

●3万円でやらせたと知らない人に話しかけられる

●助けていただいた後も、車内の男性に『この見た目でチカンとかうけるうぜえ、あのチカン受ける』などと囲まれて笑われる

●「混んでいるから仕方ない」などと言いながら笑っている

●停車駅で降りて逃げようとしたのでそのまま一緒に駅を降りたが、2000円出されて一緒に飲みに行かないかと誘われた

●道を歩いていると結構な頻度で今も怒鳴られたり舌打ちされたりする

●駅構内を歩いているとき、耳元で「やらせろ」と囁かれ、後ろを見ると走って逃げていく男が見えた

どんな気持ちになりましたか？生活に支障が出たこと、似たような場面で不意に思い出すような経験も可能な範囲で教えてください。ー記述

- 鬱になりました。思考力がかなり落ちます。勉強に集中できません。男性が隣に座ると怖くて動けないし、パニックになります。
- 労働者としての自信を失った。鬱になって働けなくなった。フラッシュバックがある。
- 路上で露出狂に会った時は、しばらくその道を通ることができませんでした。
- 路上で襲われてからは夜間一人で歩くのが怖くて短距離でもバスやタクシーの利用が増えた
- 連続して被害に遭っていたので通学や通勤が嫌になった
- 両親と同居しているが夏の間は父親が上半身裸でいることが多く不快。
不意に思い出すことがあり、誰かに殴りたい衝動を感じる。
- その後期末試験があったが集中できなかったのを覚えている。
- 夜道を歩くのが怖くなった
- 夜道は怖いですが、ぎちぎちに混んだ埼京線は避けています。
- 夜一人で歩く時すごく警戒するようになりました。また、しばらく電車などが苦手になり、何度かパニック障害みたいな症状になったこともあります。
- 満員電車、座れない電車が怖くなり、途中下車してしまうため不登校に。男性とすれ違うだけでも体が強張り、一人での外出が困難に。予備校のおかげでなんとか入学した大学も朝の電車に乗れず結局は中退。数年は理由をつけて引きこもりました。
社会に出た今でも暗い夜道等一人で歩こうとは思わないため、必ず家族に迎えに来てもらっている。
- 道を歩くときは男性を極力さけるし、狭いところを通るときは人が少なくなるまで待っている。最近は体の線が少しでも出ているとまたされるかな…と気になり、体の線が出ない服しか着れなくなった。
- 本屋でスカートの中を盗撮されて以来、その後一年は本屋に行けませんでした。
- お気に入りのワンピースを初めて来て出掛けた日でした。今でも同じワンピースを着て電車に乗るときばかりは、荷物で体をガードしたり周囲の男性を警戒する癖が抜けません。
- 30代後半の今でも電車内や人混みでは緊張してしまう。
- 怖さと悔しさと怒りでものすごく疲れます。痴漢にあうと、今までの性的被害を色々と思い出して過呼吸気味になります。
- 電車に乗るのが怖くてまわりの人間に何かされるんじゃないかとビクビクするようになった。
- 怖くて一人で夜道を帰ることができなくなった、または非常に夜遅く（20時以降）帰ることに神経質になった
- 電車で後ろに男の人が立っているだけで息切れと動悸が止まらなくなるようになり、一人で電車に乗る時は女性専用車両以外に乗れなくなってしまった
- 電車の通学が苦痛になったし今でも映画を観るときは隣がいない席を必ず選ぶし混んでる電車は常に気を張ってる
- 通学路を少し遠い道に変えた
- 加害者と似た人物が近くに来ると恐怖で冷や汗が出ますし、カラオケ等の個室にも怖くて行

けません。隙があったと言われるのが嫌でスカートもずっとはいていません

●被害後怖くてしばらくバスに乗れなかった。スカートを履いていた時に露出していた脚を蹴られて怪我したので、その後1年間はスカートが履けなくなった

●男への恐怖心と不信感が常にあり会社で話しかけられたり電車で隣に座られるのも苦痛で毎日ストレス。常に周りを警戒しているためすごく疲れる。最寄りから家までの帰り道が怖くて毎日走って帰っている

●公共の場では可能な限り男性を避けるようになりました。それしか対応策が思いつかないためです。また、警戒心をものすごく抱くようになったため、外出後、とても疲れます

●男性と付き合ってもDVを受けたわけでもないのに暫くすると相手が憎くなってしまってもうまくいかない

●男性がレジをやってるコンビニに行けなかったり、東海道線を見るだけで過呼吸になった。人が大勢いるところも無理になった

●同じ方向に歩く人がいると血の気が引く。日没後は外を歩くのに恐怖が伴う

●当時着ていたピンクのセーターは2度と着れなくなった

●当時学校から帰宅途中の路上で被害に遭ったので、付近を通りがかると吐き気がするほど気持ち悪くなった

●諸事情で玄関に男性が来たとき、ほかに人がいたのにも関わらず、心臓が締め付けられるような感覚がして、気分が塞ぎ、食欲がなくなった。事件から一年経っていたがトラウマなのだろう。性犯罪、性暴力系のトピックに触れると気分が悪くな。

●盗撮被害にあってから、エスカレーターに前向きで乗れなくなった

●電車やバスに乗ることが怖くなった。特にバスは狭いので逃げ場がなく怖いため乗らないようにしている

●電車は他人から暴力を振るられる場所なので毎日恐怖を感じながら細心の注意を払い通勤している

●電車に乗るのが怖くなった 男の人が怖くなった 不眠症になった 体調を崩すようになった 毎日気分が落ち込んだ

●電車に乗っての通学を辞めた

●電車での通学に大きなストレスを感じた

徒歩や自転車での通学、出先からの帰宅で以上に周囲が気になり毎日疲れた

●通勤路で深夜に襲われた後は夜道を1人で歩けなくなり、しばらくは上司に事情を話し明るい時間に帰宅させてもらい、駅まで家族に迎えに来てもらっていた。少しして夜も明るい道で通勤できる都内に引っ越した

●駐輪場を使うのが怖くなり、徒歩生活に切り替え。一時期電車に乗ろうとすると過呼吸になり仕事を辞めた。転職活動では女性専用車両がある路線という条件にしたため、やはり制約はかかっていたと感じる

●駅ホームでは盗撮されないために壁や柱を背にして立ったり、乗り物で立たなければいけな

いときは後ろにいる人を注意して見たり、夜道ではいつも母に電話しなければ動悸がするようになりました。女性は女性である前に知性や人格を持った一人の人間であるということを完全に無視した行為を受け、今でも不意に、「私の肉体に人格が伴っていることに意味なんてない」と思い、死にたくなります。病院に行った方がいいかと思い悩んでいます

●男性恐怖になった。恋愛が出来なかった。性交渉も恐怖で出来ず、子供も産めなかった。死のうと思って身辺整理もしたが死にきれなかった

●男性に対して嫌悪感を持つようになった。男性が電車などで近くにいと可能であれば場所を移動する。当時は、ひとりで図書館など公共施設に行くのは止めるようになった。いまだに図書館などに長居できない

●職場での女性差別に散々あってきたこともあり、なにもがんばれなくなり、今は精神の療養中です

●男が大嫌いになり、職場でも男性には塩対応、飲み会は拒否、仕事人脈を犠牲にしている。結婚もしない

●二度目に犯人と遭遇した後、頻繁に意識を失うようになりました。母が病院に連れて行き、医師からは「てんかん」と診断されました

私は文字が読めるか読めないかの頃から本が大好きでしたが、本が読めなくなりました。読もうとすると文字の読み方や意味が判らなくなり、文字の形も判別できなくなり、読むという行動自体どうやってやっていたのか判らなくなりました

●大学受験の当日の朝に痴漢被害に遭い、ショックで受験に集中できなかった

●他人に弱者とみなされ加害されたという劣等感や、自分の着たい服を着るのを我慢したり、電車に乗る際はなるべく人の少ない車両を選び特に男性とは距離を置く努力をするなどの漠然とした不自由感をその頃からずっと感じています

●性被害を受けた駅に今でも住み生活しているので（実家があり地元）何十年たっても頻繁に思い出し胸が苦しくなる、精神薬を飲んでいます

●制服の時以外は、お気に入りの服を下ろして着たら被害に遭い、その服が着れなくなった。服に興味を持つのをやめた。なるべく野暮ったく地味にして、ダボついた服を着てた

●図書館に行けなくなった。公園でも遊べなかった。電車に乗れなくなった。精神科に5年ほど通院している

●辛かった、公共交通機関にのれなくなった、摂食障害になった、うつになった

●新幹線の自由車両に乗れなくなった

●常に不安。

●初めて性被害に遭ったのはエレベーターの中だったので怖くて何年かエレベーターに乗ることができませんでした

●自暴自棄になった

●自分の価値がなくなったような気がして、「誰とでも性的行為をしてもいい」というような、自暴自棄な気持ちになった。自分を大切にしようと思えなくなった。自傷行為をすることもあ

り、10代の頃は倦怠感が強かったです

●自転車ですれかわる被害に遭ってからは、今でも夜道を徒歩や自転車を通る時は数メートルおきに振り返らずにはいられません

街灯の横を通る時、光源の都合で自分の影が自分を追い越すように動くのですが、それを見ると、光源の原理をわかっていて覚悟ができていても、被害の感覚を思い出してしまい心臓を掴まれたような気分になります

電車の中で隣に座ったり近くに立っている男性を必要以上に警戒してしまいます。

●自宅以外、落ち着いてお風呂に入れなくなった。周りを気にして、挙動不審になる。夜間はタクシーに乗るようにした

●自宅マンションの近くだったので、気持ち悪くなって引越しました。

●自衛のため自分の行動や服装に制限を設けるようになりました。自分の人生が損なわれているようなすごく不愉快な気持ちです。あれからだいぶたっても夜道や人通りの少ないところなどを歩くときは緊張します

●事件現場は一人暮らしの自宅付近だったので、被害直後は家に帰るのも怖く、1週間ほど家から出られなかった

●私の場合は触られたぐらいでそれ以上の経験はないですがそれでもやっぱり傷はいまだに癒えないです。痴漢に遭うのが嫌なので自転車通勤できる近くの会社に転職しました。

●死にたいというより、自分の存在を消したい

エロ全般ダメなのはわかっているが、何がきっかけでフラッシュバックするのかわからない
思い出したときは心が過去に固定されて、そこに気持ちもなにもかもが集中してしまって、なにもできなくなる
 工作中とか外への対応が必要なときは、自分をショックを受けている自分と大丈夫な自分とに分けて、大丈夫な自分に対応してもらう たぶん挙動不審

寝るときに思い出すと、電気を消せないし、横になれないので、睡眠導入剤で寝落ちする 朝、起きれなかったらどうしようと思うけど、今のところ起きれている

●背後に立たれると家族や学校の先生などよく知っている人でも足がすくんで動けなくなってしまった。それまでは自分から人に話しかける性格だったが他人が怖く人見知りになってしまった

●四人席や、座席が少ない席に一人では座れなくなりました。以前より隣に来る人の距離感の許容範囲が狭まり、男性の場合席を立つことが増えました

●山手線に乗れなくなりました

●殺意、憎しみ。電車に乗ればその駅に行けば必ず思い出し男性を警戒する。

●最低、ずっと忘れられない。後ろを何度も振り返りついてこないか確認する癖がついた。
鍵はすべてかけるよう徹底している、性的な目で見られるたびに体を隠すようになった

●痴漢行為以上に、住所がバレること、付き纏われる事、押し倒されること、複数名にレイプされる事を恐れていた。平気な顔をしていたが、思い返せば学校や塾をサボる、過食嘔吐等していた

●その当時、それが何か知らなかったことも「何であるか」を知って思い出し、しばらく精神的に不安定になった。今でも家事などをしている時にふとフラッシュバックのように思い出してしまい、ものすごく落ち込む。それが定期的にある

中学生以上の男性が全て苦手になった。定期的に性暴力被害者向けのカウンセリングに通っている

●最初の時は、今思えば一時的に離人症のような症状が出ていて、数日間は自分の回りに膜が張っているような、遠くから自分を動かしているような変な感覚が続き、無感動になった

●特に性被害のニュースなどを見ると毎晩悔しさと怒りと絶望で叫んだりして眠れなくなる

●今でも安眠できません。外が暗くなると外出するのが怖いです。映画館などでも痴漢に遭うので、映画を観に行くのが怖いです。宅配便のかたも男性が多いので玄関を開けるのが怖いです。生活のあらゆる場面で支障が出ます

●今でもワンピースを着て電車に乗れません

一時期大学に通えなくなりました

●今でも PTSD を患っていて通院。大学進学しましたが PTSD の影響で1ヶ月で退学。発作や不眠症で仕事もできず生活困難な状態です

●高校生の頃、1ヶ月家からでられませんでした。

●今現在(40 歳)でも電車やスーパー、道路で不審な動きをする男や視線を感じると、恐怖が蘇り警戒している。防犯ブザーを常に携帯している。一人で安心して歩ける場所はないと思っている

●好きな服を着れなくなり、電車や歩いてる時にイヤホンをするのが怖くなりました。

エレベーターに男性と二人で乗るのも避けてしまいます

制服を着ることが嫌になりました。

●公共の施設にも拘らず女性のみのも場所でも気を抜くことができずリラックスできない。バスに乗るのが嫌になった。地下鉄は男のいない車両を探して乗っている。道すがら変な人間がいなかを常に気を張っていないとおちおち外も歩けない。公衆トイレに入るときはカメラや除ける場所がないか女性以外誰もいないかを確認する。公衆トイレはデパートでも図書館でも公園のトイレでもできれば行きたくない。恐ろしいから

●後を付けられてから、オートロックを開けるときに常に背後をきにしています。

●後ろから自転車に追い越されるのが怖くて仕方ない

●後ろからバイクの音が聞こえると怖くなる

●現在大学に通っている。私は視力の都合で前の方の席に座って講義を受けることが多いが、同じことが起こらないとは分かっているけど後ろに人が座ると気になる。特に夏場、サンダルあるいはサンダルから少し足を出して(裸足の状態で)講義を受ける人を見かけると、昔を思い出して嫌な気持ちになる

●現在は、お風呂に入るときは窓の鍵は必ずチェックします。満員電車は絶対乗りません。職場に合わせて徒歩?自転車通勤圏内に引っ越します

- その後は15年以上、ひとりで外出したことがありません
- 胸を張って堂々と歩けなくなっている。年々猫背に拍車がかかり、駅構内では胸の前に手を組んだらして歩くようになった
- いちいち外の物音に警戒心を抱くようになった。どんなに換気したくてもきっちり窓に鍵をかけるようになった
- 友人に近寄られるだけでも体が硬直する、被害部分を鞆で覆うように移動しないと叫びだしそうになるなど
- 数十年のトラウマや鬱症状になった
- 恐怖から毎朝吐き気がして電車に乗るのが辛くなりました
今も電車に乗るとパニックになります
- 強姦未遂事件からは35年経ったが、今でも人通りの少ないところを歩くときは異様に発汗、知らない人に真後ろに立たれるとパニックを起こしかねないので、エレベーターは知り合いと一緒にでなければ乗らない、満員電車では扉を背にして立つなど常に神経をとがらせていないと日常生活が送れない
- 泣きたくなり、大学に行くのをやめ欠席しました。今も電車になるべく乗らない生活をしています。おかげで収入は低いし交友関係も狭いです
- ストレスでハゲた
- それまで隣が眠って寄りかかれても気にしていませんでしたが、痴漢被害にあってからそれも気持ち悪く感じ、他人と触れ合うことができなくなりました
- 痴漢を受けて以来、満員電車の中で痴漢ではなくたまたまカバンや傘が身体に当たった時でさえ、「あ、触られてる…、きもちわるい…」と誤解で不快な気持ちになることが増えました。
- 気持ち悪かった。男の人が全員こわいと思うようになった。こわくて壁に背中を向けないと寝れなくなった
- 気持ち悪かった。それが原因かはわかりませんが、成人した今でも異性を好きになることがありません。スカートが履けません。異性と二人きりになると怖くなる
- 楽しめていたことを楽しめなくなった（オシャレや趣味など）行動範囲が狭くなった
- 学校以外のプールや海は怖くて、それ以来今まで一度も行っていない
- 外出するのが怖くなり引き籠もった。行動範囲を変えなければならなくなった。
- 制服のスカートを見ると痴漢を思い出すようになり、しばらく履けなくなりました
- 過食症、眠る以外は緊張感が続く、不眠、人間不信、勉強に身が入らなくなる、視力低下、躁鬱を繰り返す、清潔を保とうとしなくなった、
- 過去のことを考えると酷く暗い気持ちになる、なるべく物事を深く考えないようにしようという癖がついてぼんやりするようになった
- 夜道を歩く時は背後に人がいると怖くて、ビクビクしながら時には泣きながら通勤してました
- 加害者に付き纏われるようになり、毎日怯えて頻繁に泣き自殺を考えたり外出に恐怖を感じ

るようになった。8 年程鬱の症状に苦しんでいた

●加害者に顔のパーツや背格好が似た人を見かけると、それがリアルで無くテレビなどであっても気分が悪くなりフラッシュバックします。外出がほぼできない状況になり、まともな日常生活はおくれなくなりました

●まず、15 年電車に乗ることができませんでした。40 代になって初めて、友人とともに電車に乗りました

●プールに関しては毎回フラッシュバックが起こる。中高年の男性がいると怖い。とても慎重に周囲を伺い、暮らすほかなく、強いストレスが日々ある

●ノイローゼになり水も飲めなくなったこともあります

●ネットに盗撮写真と合わせて職場最寄駅と駅にいるおおよその時間を載せられて、性被害に遭う不安があり、急いで 1?2 ヶ月で 15kg 太って見た目を変えるのと並行して、リモートワーク可能な職場に転職した

●家に一人でいるときに男性の業者さんなどが室内に立ち入るときに異常に緊張する。

●同じ空間に信頼関係がない男がいるとイライラします

●今でもあのおじさんは私のスカートの中身の写真を持っていることにとっても不安です。晒されたらどうしよう SNS に上げられていたらどうしようと今も思います。暫くは何度もネットで自分の写真が挙げられていないか検索してしまいました

●胸をつかまれたときは同じ大学の学生だったので、その後大学に行くのが怖くなって、中退した。親には、学校が合わないから辞めたいと言ってごまかした

●その時着ていた服を 2 度と着られなくなった

●その後 10 年ほど経ちますが、未だに 1 人で井の頭線は乗れません

ストレスフルな日々で荒れていたし、攻撃的になっていました

満員電車が怖くなる / 男性はみな下心があって近付いてくると思って(諦めて?)しまい、真剣に向き合えない(どうせ体でしょ?みたいな) / ショートカットに男物の服で生活するようになった。痴漢とかセクハラの対象にならないから

●しばらく電車は使えませんでした。恋人や友人と一緒に電車に乗ってくれることでなんとか克服は出来つつあります。でも、加害者は 20 代後半くらいの筋肉質でガタイの良い男性だったので、同じような特徴を持つ人が近くにいると今でも怖いです。スポーツ観戦は怖くて無理です

●しばらく古本屋にいけなくなった

●これ以降電車が怖くなり何年か乗ることが出来なくなり。長距離でもタクシーで移動していました

メンタルクリニックでの治療やカウンセリングを何年も受けねばならず。経済的にも精神的にも、大きな負担となりました

●か弱く抵抗しなさそうに見えるような、フェミニンな服を着るのを防犯のためだけに止めたくないので、電車で出かける機会を減らすようになった

言われたときの加害者に近い、清潔感のない 40 代くらい以上の年代の男性との会話を仕事でも避けるようになった

●PTSD を発症してしまい、電車に乗れなくなったり、被害に遭った場所の近くにいけなくなったり、加害者に似ている人を見かけると具合が悪くなったりします

制服のスカートや、女性的な服装ができなくなった。大学生のころには、男性に好意を持たれなくて、頭をモヒカンにした。大きくなって、どういう状況だったかを理解してから、思い出すだけで寒気がするようになり、男性が苦手になった

●夜道を歩くのが怖かった。しかし、家に帰るために我慢して歩いた。20?21 時頃までは歩き、それを過ぎる場合はタクシーとした

●その後は、通学の電車に乗る時、その男も乗車する駅(最寄り)が同じなので時間をこっちがずらしたり、帰り被らないように何となく気をつけたり、そいつが好んでのる一両目にはのらないようにしたり、色々制限が出るようになった

●これ以上被害に遭いたくなくて胸や性器を取る手術をしようと考えて病院や手術費用を検討したりその事で頭が一杯になって何も手につかなくなった

●特定の電車に乗れなくなり、手足が震えて動悸がしてホームに近づくこともできなくなった

●子どもの頃は性犯罪、性被害という言葉が知らなかったのも唯一知っていた「ちかん」という言葉で体験にラベルをつけ、記憶の奥底に沈めた。詳しい内容をおもいだすことは大人になるまでなかった。大人になり「痴漢」という言葉で表現するには重すぎる被害だと思った